



土木

所属	県土整備部港湾課港湾整備室
入庁年	2016年
異動歴	2016年 銚子土木事務所 2020年 銚子漁港事務所 2024年 県土整備部港湾課港湾整備室

1 仕事の内容は？

土木職は、県民の安全・安心で豊かな暮らしを支える社会インフラである道路・河川・港湾・都市計画・上下水道などの幅広い分野に関する企画、設計、工事監督、維持管理などに携われることが大きな魅力です。また、私は「港湾課」で、港湾事業のマネジメントに従事しています。主な内容としては、県が管理する港湾・海岸の各事業の進捗管理や予算管理を行っています。

2 志望理由は？

工業高校で学んできた土木分野の知識を生まれ育った千葉県で生かしたいと思ったことと、先輩職員から千葉県土木職の業務内容などの話を聞き、県の仕事の魅力を改めて実感し、私も微力ながら千葉県の発展に貢献したいと考えたからです。

3 仕事のやりがいは？

事業を進めていくうえで、支障となりそうなリスクを想定して対策を検討し、問題が発生した時にはすぐに対応・解決できるように港湾課と港湾事務所が一体となって計画の見直しを行い、事業が進んだときに大きなやりがいを感じています。

4 印象に残った仕事は？

名洗港の高潮対策事業では、震災を契機に津波対策の整備を実施しました。地元住民の方々の整備に対する意見から、津波から人々や財産を守ることも大切だが、景観を配慮する必要もあると勉強し、地域に寄り添うことの大切さを実感しました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

千葉県は、首都圏で成田空港やアクアラインなどの主要なインフラ施設がありながら、自然豊かな場所が多くあります。また、港湾・漁港の仕事に従事してから港ごとの役割やレジャー施設など地域によって様々な海の魅力を発見できました。県内それぞれの地域に違った魅力があります。

6 職場の雰囲気は？

港湾課は、比較的若い職員が多く、解らないことがあれば丁寧に教えてくださる先輩や上司がいて、とても仕事に取り組みやすい環境であり、一人で抱えることなく周りの方々と気軽に相談しながら業務を進めることができます。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、県内の観光スポット巡りや、スポーツ観戦をしてリフレッシュしています。また、人数が集まれば学生時代から行っている野球をやることもあります。退庁後は、同僚と食事に行ったり、映画鑑賞したりしています。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メールやスケジュール確認
- 9:00 ● 発注手続きに関する説明資料作成
- 10:30 ● 県土整備部内会議
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 管轄の出先事務所と事業の進捗状況の打合せ
- 14:30 ● 外部機関とWeb打合せ
- 16:00 ● Web打合せ結果の整理
議事録作成、資料修正、関係者への共有
- 17:15 ● 退庁

